



初めての「子宮ガン」検診

26日から 3日間 検診車「すみれ」号が

留萌市に初めてガン検診車が来て、九月二十六日から三日間にわたり「すみれ」号の集団検診が行なわれます。

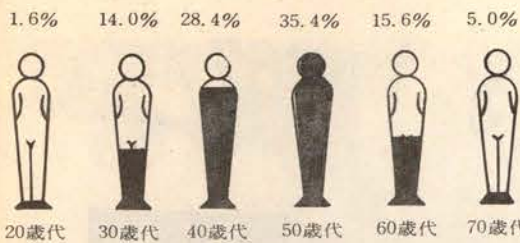
お申し込みください。
(期日) 九月二十六、二十七、二十八日
(受付時間) 午前八時半～九時まで
(場所) 市立労働会館(明元町)
(対象者) 市内に居住する市民で三十才以上の婦人
(検診方法) 第一次検診―問診、内診、細胞診
第二次検診―第一次検診で異常があった者を北大、医大で検診材料を採取し、精密検査を行なう
(検査料) 第一次検診―一人七百円のうち市が、百円助成
第二次検診―一人四百円(検査人員)
一日九十人、ただし申込者が予定人員に達したときは、申込期限前でも打ち切りです。
(受診日) 本人にあとで通知します
(申込期限) 九月十日
(申込先) 市役所厚生課(一階)

子宮ガンは早く発見が大切

子宮ガンは、他のガンより治りやすい。それには早く発見することが条件となります。自覚症状がないけれども検診の結果発見された時は、早期(子宮頸部にひろがる)では七〇～八〇%治る。

しかし、後期(子宮の周囲にひろがる)になれば、治療はむずかしい。ですから、一日も早く発見することが大切ですが、一般には、その症状として①おりものがふえてそれに血がまじる②不定期出血や接触出血がある。があげられます。

でも、このような症状は子宮筋腫や子宮頸部のただれにもあることですから、「サア大変」ガンだと早まって、不安がらずに、早く確実な診断を受け、正しい治療をしましょう。



子宮ガンは部位的な関係から、ごく初期のうちで、定期的な健康診断が、大切で、発見されること、早期に発見されれば、手術による治療を受ける必要が、少ない。しかし、なんの症状もないのに病院に出かけるのはなかなか出来ないのです。そこで、誰でも気軽に受けられるようにと考えられたのが、この検診車です。異常を感じてからでは、手遅れになることもあり、早くに定期検診を受け、早期発見が大切です。

しかし、会場がないため、会場を別けて開いたり、そのために十分な施設を整えることが出来ないなどから、道の補助を受け、市費で建設することになったものです。

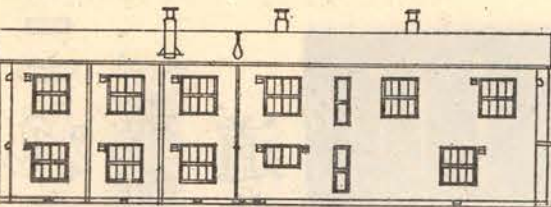
道北の石油基地として、ことしも市内黄金岬に石油タンクが建設されています。



〈留萌市文化賞〉の受賞候補者の推せんを

〈留萌市文化賞〉の受賞候補者の推せんを、9月30日まで受け付けています。これは、文化賞と文化奨励賞とに別けられ、科学、芸術、教育を通じて、留萌地方文化の向上につくし、その功績が認められた人に贈られます。市教委は、これにともない、受賞候補者の推せんを受けています。受賞の候補者は、個人、団体いずれでもよいが、ことしの9月30日までに、市内に5年以上居住したとか5年以上事業団体をおいた団体となっています。推せんは、市教委にあり、あなたのまわりに、この文化賞を贈るにふさわしい方がおりましたら、どしどしご推せんをお願いします。なお、受賞者は推せんを受けた後、審議会の答申により教育委員会が決定します。これまでの授賞者(敬称略) 28年 たて沼ナヲ(文化賞) 田辺悠治(文化奨励賞) 29年 田中進一(〃) 留萌朗読研究会(〃) 30年 原田武夫(〃) 32年 伊佐津和平(文化賞) 高木静山(文化奨励賞) 33年 高橋澤水(〃) 34年 佐藤作太郎(〃) 36年 東光小鼓笛隊(〃) 37年 留萌小器楽演奏(〃) 留萌ペンクラブ(〃) 40年 関 四郎(〃)

産業人教育に期待 共同職業訓練センターを建設



職場で勤めながら職業人としての技術などを向上させるために、留萌市共同職業訓練センターが、市役所横に建設されます。この訓練センターは、それぞれの職場で働く者、それぞれの職業技術者、それぞれの職業技術者を集めて、より高水準な職業人を育てようとする。昨年四月から六科目にわかれ進められていま

十一月に完成をめざし着工されますが、総額九百六十万円(うち道の補助四百万円)をかけ、ブロック造り、一部木造二階建て、延べ四百九十二・二㎡のセンターが、市役所横の市有地に完成します。

これらによって、一段と教育が充実されるのは勿論のこと、留萌市の産業人教育も、職場へ入る前の中学校の職業教育、工業高校の教育、職業訓練所などと共に、職場へ入った後の教育も充実して行なわれることになるだけに、職業訓練センターの完成による成果が期待されます。

留萌市に初めてガン検診車が来て、九月二十六日から三日間にわたり「すみれ」号の集団検診が行なわれます。

お申し込みください。
(期日) 九月二十六、二十七、二十八日
(受付時間) 午前八時半～九時まで
(場所) 市立労働会館(明元町)
(対象者) 市内に居住する市民で三十才以上の婦人
(検診方法) 第一次検診―問診、内診、細胞診
第二次検診―第一次検診で異常があった者を北大、医大で検診材料を採取し、精密検査を行なう
(検査料) 第一次検診―一人七百円のうち市が、百円助成
第二次検診―一人四百円(検査人員)
一日九十人、ただし申込者が予定人員に達したときは、申込期限前でも打ち切りです。
(受診日) 本人にあとで通知します
(申込期限) 九月十日
(申込先) 市役所厚生課(一階)

日本石油も建設



道北の石油基地として、ことしも市内黄金岬に石油タンクが建設されています。

留萌港の石油基地化は、道北各地での石油の需要を満たすため、海上輸送されて来たものを、さらにこの基地から各地に車で輸送しており、道北における重要な役割者を持っている。

留萌港の石油基地化は、道北各地での石油の需要を満たすため、海上輸送されて来たものを、さらにこの基地から各地に車で輸送しており、道北における重要な役割者を持っている。